



## オスプレイ墜っ!

**異常** 米軍……検証もなく飛行再開  
安倍内閣……米言いなりに飛行承認  
主権も放棄

### 2機が連続事故

心配されたことが現実になりました。沖縄名護沖で米海兵隊のオスプレイが空中給油訓練中に失敗して、墜落大破しました。その事故を空中で監視していた別のオスプレイも基地に帰ったところ足が出ずに胴体着陸していました。開発期から事故が多発し、配備されてからも米軍内で「未亡人製造機」などと言われてきたため、配備に反対の声が強い機なのです。



### 事故原因の究明もせずに

ところがその事故原因の究明もしないまま「機体の故障ではない」と言い張る米軍の発表を鵜呑みにして、日本政府も事故を「墜落」ではなく「不時着」といい（NHKもそれに追随）6日後に飛行再開を認めてしまいました。しかも米軍自体が軍内では最重要事故のAクラスだと認めているのです。

「空中給油中に伸ばしていたパイプにブレード（プロペラ）が当たって壊れたためであって、機体そのものではない」ということですが、空中給油で航続距離が長いことが売り物であり、それを安全に操作できない機体だとすればそれ自体が問題なはずなのに、こんな言い訳を政府も了承するとは!

### 植民地か!

沖縄米軍四軍の最高指揮官のニコルソン調整官は「住宅地や民家に落ちなかった空軍操縦士に感謝しろ」と発言したと伝えられています。

沖縄の翁長知事や安慶田副知事などが米軍の対応は「植民地意識丸出し」と怒り、飛行再開は「言語道断」と強く抗議しています。

なぜこんな発言が出てくるのでしょうか。調整官は「遺憾だ」とはいうものの県民の側の視点ではな

く、まさに軍の立場での発言をこともあろうに県民に向かって言う。これぞ「植民地意識」というものではないでしょうか。軍としては住宅地に墜落したら日本国民、沖縄県民の怒りが燃え上がることはわかっている。それをなんとか避けてくれた兵士には軍として「よくやった」と言いたいのでしょうか。しかしそれはまるで相手が違う。いわば植民地支配を何とかごまかしてうまく続けたい側の論理です。

旅客機がエンジントラブルで不時着炎上して「犠牲者が出なかったことを機長に感謝してほしい」などという航空会社があるのでしょうか。

### 機体の信頼性や経済性は

オスプレイは危険性もさることながら、フジサンケイグループのSPAなども「米陸軍が導入断念したオスプレイを倍以上の価格で購入し17機3600億円を購入予定。」と無駄遣いを指摘するように、防衛省は法外な高価格で購入しようとしています。

### 稲田防衛大臣は

機体はアメリカ側が持ち去り、何の調査もできるはずもなく、しないままで再開承認。こんなことで「日本の防衛」が出来るはずがありません。前号の当ニュースに米軍の沖縄事故隠しについて書いたばかりですが、またしても事故隠し。

**裁判** 沖縄県側の敗訴を言い渡した高裁に続き、最高裁も(さすがに政府の言い分の「辺野古移転以外に選択肢はない」という理由は採用しなかったものの)形式的判断のみで知事敗訴の判決。司法は日本の民主政治を三権で分担して守る役割を放棄。

### 改めて 日米地位協定こそ問題だ

問題の根本に地位協定がある。改めて改定が問題になる。日本では環境汚染があろうが、犯罪があろうが、米軍基地に立ち入ることが出来ない。治外法権である。横田基地に麻薬が持ち込まれていると言われているが捜査できないのだ。それどころか基地の外で起こった今回の事故についても事故機の収容も調査も出来ず、近づくことさえ拒否されている。

NATOなどの同盟国でもこんな国はない。ドイツなどでは米軍基地への立ち入り調査も出来る。

憲法押しつけ論を声高に言う日本会議や安倍首相などが、この屈辱的な「押し付け」を懸命に擁護する姿は国際的にも異常さが際立つ奇異な有様。

# 12・19国会前に3000人

12月19日夜、沖縄のオスプレイ墜落とその後の日米の政府の対応に怒り、3000人が国会に詰めかけました（当会からは3人）。国会はカジノ法案の審議のために延長されながら、ろくな審議もしないで強行可決し、閉会しました。



登壇した政党や団体の代表が口々に国会と安倍内閣のひどさを糾弾。NGOの代表は自衛隊派遣について、  
 「JVC(日本ボランティアセンター)は駆けつけ警護をやめてくれと言っている。大統領派と反大統領派が戦っているというような報道がされているが現実とは違う。すでに誰と誰が戦っているかわからない状態だ。NGOのところに逃げてきた人たちは子供達が鳥でも殺すように打たれているという。誰にやられたのかと聞いてもわからない。もしもNGOが、自衛隊に駆けつけ警護を依頼して出動したりすれば、その相手が政府軍の部隊だったりする。政府軍と戦えばPKO自体が成り立たなくなってしまう。だから先日もPKOが支援を断った。

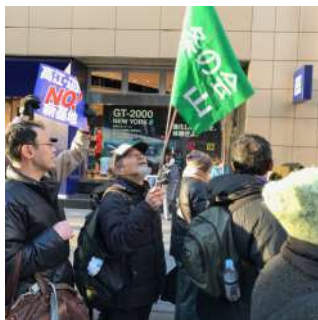
自衛隊派遣ではなく日本ができる支援を考えないのか。「南スーダンに平和を取り戻そう」と、平和ブランドを持つ日本だからできる援助を。」と訴えました。

最後に行動提起があり。◆沖縄統一署名を1月10日までに500万集めよう◆1月19日、2月19日は定例の19日集会を行う。とくに2月19日は様々な課題で結集する集会を日比谷野音で◆野党共闘を進めよう。1月7日13:00新宿西口野党と市民連合が一緒になった集会を成功させよう。

## 日比谷から銀座をデモ

12月10日(土)「高江オスプレイ・パッド 辺野古新基地の建設を許さない 東京集会」に参加しました。(2人でした)

日比谷野外音楽堂での集会の後、有楽町から銀座を経て鍛冶橋までデモ。途中有楽町で右翼が氣勢を挙げていましたが沿道の市民は好意的と感じたのは勝手な思い込み？



主催：沖縄の基地反対県民会議と総がかり行動実行委員会

<訂正>前号で12月19日の集会を14:00とお知らせしましたが18:30の間違いでした。また11月19日の参加者数9000人と書きましたが、情報が間違っていました。3800人が正しいようです。

## もんじゅ廃炉決定

政府は12月21日、「高速増殖炉もんじゅ」の廃炉を正式に決定しました。使用済み核燃料のプルトニウムを再利用する「夢の原子炉」と宣伝しながら、ナトリウム漏れははじめ事故続きで、22年間で稼働したのはたった250日だけでした。

- ◆これまでに投じた国費約1兆2千億円  
建設費は約5900億円と一般的な原発の2倍。
- ◆1994年の臨界後は205日間運転をしたが、翌年12月、冷却材のナトリウムが漏れ、事故で運転中断。改造工事などを経た2010年5月には運転再開し、45日間運転したが、8月に炉内中継装置の落下トラブルで再び中断。
- ◆動かないのに年間「維持管理及び安全対策に要する経費」が185億円(1日5千万円)。そのほか人件費に29億円、固定資産税に12億円かかっている。
- ◆再稼働すれば5400億円かかるといい廃炉を決めたが 廃炉費用：3750億円かかるという試算。しかし福島だけで廃炉費用は1兆円以上かかるというから、この数字も？だ。

## カンパのお礼

昨年も皆様方からたくさんのカンパをいただきありがとうございました。頂いたカンパは  
 九条ニュース・駅頭宣伝用チラシ・カラーリーフレットなどの印刷、発送用封筒・切手。憲法集会や学習会などの経費、ニュース配布のための住宅地図、のぼり旗などに使わせていただきました。

## 今日の行動予定

### 流山 成人式で若者に訴えを

- ◆1月8日(日) 九条の会は9:30駐車場集合  
流山の成人式会場が変わりました  
キッコーマン・アリーナ  
(もと総合体育館)
- ◆1月9日(月)「おたかの森駅」  
15:30~ 宣伝・署名、

### その他

- ◆1月7日(土)13:30~ 新宿駅西口駅前  
市民連合と野党共同の市民集会
- ◆1月19日(木)18:30~  
場所：国会議員会館前  
主催：総がかり行動実行委員会

沖縄・新基地反対の署名を世話人にお寄せ下さい 1次締切1月10日

カンパはこちらの郵便振替口座へ  
00130-5-464735 口座名 九条の会流山